

SUKE3

救 助
援 助
補 助

格 別
格 段
格 調

KAKU3

事業案内編

ご挨拶 「活力ある いばらき づくり」サポートへ

茨城県工業技術センター長 桑島 英純



このたび4月1日付でセンター長に就任いたしました。前任センター長の目指す「技術支援のハブ機関」役割を引継ぎ、36年間企業での技術畑経験を微力ながら生かしてまいりたいと思います。

現在、日本の経済は未曾有の厳しい状況にあり、各企業の皆様も、回復させるべく施策を検討・実施中のことと思います。回復させるためにも「技術力を磨き」「人材を育てること」が、今こそ求められていると思います。

センターとしての役割を、皆様の施策にきめ細かく対応できるように心がけます。

1. 誠心・誠意・企業の皆様のニーズのために動く

現在進めているものは、目標達成に向けて進めると共に、さらなる企業のニーズを拾わせていただき、使える、役立つプロジェクト・研究を推進します。推進するに当たっては、現場の皆様のご意見をいただきながら、誠心誠意進めます。

2. 夢を、思いを形に、ものづくりをサポートする

現場でのものづくりでの相談・問題解決・試

験設備活用等にて、サポートさせていただきます。文化と伝統のある地場産業は、人材を継続して育成すると共に、ブランド化・製品化をさらに進めるための知恵と工夫を、サポートしてまいります。

3. 企業の活力を企業間・産学官、連携にて支える

短期的には、皆様の企業の活力が発揮できるよう、それぞれの現物、現場、現実を理解したうえで、センターの情報力・チーム力・コーディネート力を発揮させたいと思います。中長期のテーマについては、将来のいばらきの活力を担うものであり、産学官連携を中心に活動したいと思います。皆様の企業の活力が「活力あるいばらきづくり」の基盤であると信じております。

「活力あるいばらきづくり」のための「技術力向上」「人材育成」をサポートできるのは、工業技術センターと固く信じております。皆様のご意見を伺いながら、ともに力を合わせ、積極的にセンターを活用して頂けるように邁進してまいります。

センターのご活用を宜しく御願い申し上げます。

■ご利用いただけるサービス

はじめてのお問い合わせは…☎029-293-7212(代)へ

●技術相談

皆様の日常的な生産活動における諸問題から競争的資金獲得、産学連携、将来へ向けた技術開発など、あらゆるご相談を、電話・来所・メールでお受けしますので、お気軽にお申し付けください。

●依頼試験・設備利用（有料）

生産活動に伴うトラブル対象、困難な材料の分析、試作品の評価などを行っております。
また、分析機器や測定機器を有料で開放しておりますので、御社の日常的な課題解決にご活用ください。
詳細な項目についてはホームページをご覧ください。

茨城県工業技術センター → **検索** **アドレスは** <http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/>

ご利用の日時、機器、試験内容などについては、あらかじめお問い合わせ下さい。

- 必要な書類 依頼試験には「試験・分析・検査申請書」が必要です。（ホームページからダウンロードできます。）
設備使用には「設備使用申請書」と「誓約書」が必要です。（ ）
- ご利用時間 午前9時から午後5時までです。（土・日・祝祭日は除く。）
- 利用料金等 依頼試験手数料金、設備使用料金は、現金により前納していただきます。詳しくは担当部門へご連絡下さい。料金はホームページからもご覧いただけます。

ご利用の多い試験一覧

	項 目	内 容	主な対応部門	担 当
工業関連	精密測定	寸法・角度・真円度を測定	技術融合	青木，山下
	電磁波測定	電子機器から出る電磁波の測定	技術基盤	平野，川又，戸塚，
	電気計測	電流・電圧の測定		
	材料強度（引張，曲げ）	材料の強度試験	先端材料 先端技術 技術融合	小松崎，行武，早乙女， 上田，岩澤，青木，谷萩， 山下
	定性・定量分析	材料の元素組成分析	先端技術	浅野，飯村，宇津野，加藤， 石川，石渡
	耐食試験	材料の腐食性試験		
	膜厚試験	めっき・塗膜等の厚さ測定	先端技術	飯村，加藤，石川，岩澤， 早乙女，上田
	金属組織（電子顕微鏡）	微細な表面形状の観察	先端材料	
食品関連	耐候・耐光試験	紫外線等の光による劣化試験	先端技術 産業連携室	石川，小林，寺門
	細菌検査	食品中の細菌数測定等	食品バイオ 地場食品	田畑，武田，岩佐，中川， 吉浦，坂井，久保
	一般分析（定量，定性）	食品中の成分分析		
	測定試験（食品フィルム等）	フィルムの酸素透過率等の測定		
繊維 プラスチック 関連	プラスチック関係試験	強度試験・材質分析試験など	素材開発 紬技術	大高，磯山，高力，磯 中野，本庄，篠塚 高力，中野，本庄，磯
	化学分析	繊維，染料，加工剤等の化学分析		
	物理的性状試験	繊維，高分子材料の物理的性状試験		
	染色堅牢度試験	色落ち・変色・色移り等の試験	紬技術	中野，本庄 石川
	幅出し整理	織物の幅を一定に整える加工		
	設計図案作成	紬織物の縞模様設計図面作成		
窯業関連	蛍光X線分析試験	窯業原料の化学組成を分析	材料技術	吉田 仁平，吉田
	耐薬品性試験	薬品への耐久性を検査		
	強度試験	窯業製品の曲げ・圧縮を検査		
	外圧試験	陶管の圧縮試験		
	吸水試験	粘土などの吸水性を検査	工芸技術	常世田，吉田 久野，吉田，常世田
	焼成試験	釉調や発色等の確認試験		

ご利用の多い設備一覧

	機 器	内 容	主な対応部門	担 当
工業関連	インストロン万能試験機	材料の引張・圧縮・曲げ試験	先端材料 技術融合	小松崎，行武，早乙女， 上田，青木，谷萩，山下
	電界強度測定システム	電子機器から出る電磁波の測定	技術基盤	
	微小蛍光X線分析装置	材料の元素組成分析	先端技術	宇津野，石川，加藤，石渡， 岩澤，早乙女，上田
	マイクロスコープシステム	製品の表面形状観察	先端材料	
食品関連	高温高圧調理滅菌機	レトルト食品の試作など	食品バイオ 地場食品	吉浦，田畑，坂井，岩佐
繊維・プラス チック関連	万能試験機	強伸度，曲げ，圧縮強度等の測定	素材開発 紬技術	大高，高力，磯山，篠塚， 本庄，中野，磯
	電子顕微鏡	試料表面の拡大観察		
窯業関連	真空土練機	空気を抜いて粘土を練る	工芸技術	常世田，久野
	ボットミル	釉を搗る機器		
	セラローラー	粘土を板状にのばす機器		

●受託研究

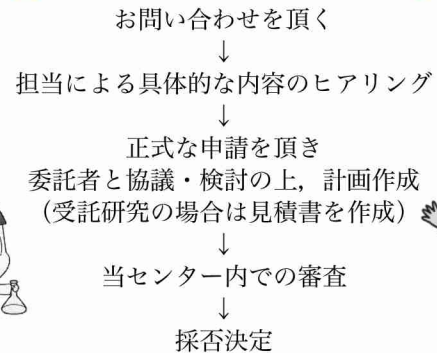
企業様からの研究テーマに基づき、センター職員が有料で研究を実施し、成果を報告いたします。

●共同研究

センターで保有する研究シーズに対して参加者を募り、共同で研究を進めます。

	受託研究	共同研究
募集期間	随時	原則4月上旬
研究期間	当該年度	当該年度
成果等公開	非公開可能	原則公開
費用	申請者負担	相互負担

●申請から採否決定までの流れ●



●情報提供

《茨城県工業技術センター配信のメールマガジン》

■工業技術メールマガジン【月1回配信】

工業技術センターの事業や工業技術センターに集まる情報の中から、皆様の研究開発や課題解決に有用と思われる情報、普段はあまり耳にすることのない分野の情報もリアルタイムにご提供いたします。

電話	029-293-7213 (産業連携室)	氏名、会社名、所属、電子メールアドレスをお知らせ下さい。
登録のご希望は…	ファックス 029-293-8029	
電子メール	renkei2@kougise.pref.ibaraki.jp	

■結城紬産地メールマガジン【月1回配信】

一般向けに結城紬産地の活動情報やイベント情報を、産地企業向けに他産地の情報をお送りしています。メールマガジン講読は繊維工業指導所ホームページ (<http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/seni/>) からご登録ください。

— そのほか多くのみなさまに情報をお届けできるよう、各種メディアでの提供を進めております。 —

- ・技術情報誌、成果集の発行
- ・工業技術センターホームページ
- ・電子メールによるニュース配信
- ・新聞、テレビ・ラジオ出演
- ・各種イベントへの参加など

●人材育成

■結城紬後継者育成 (繊維工業指導所 紬技術部門 tel:0296-33-4154) 募集時期：1～2月ごろ

紬織物の糊付け、整経等の下ごしらえから、製織まで一貫したものの作りが出来る後継者を育成しています。

■笠間焼後継者育成 (窯業指導所 工芸技術部門 tel:0296-72-0316) 募集時期：11月ごろ

笠間焼にかかわる技術 (工芸陶磁器製造技術全般、笠間焼商品の企画開発力強化、原料調整、釉薬配合、焼成など) の研修により後継者を育成しています。

■生産技術者育成

○微生物管理技術研修 (地場食品部門 tel:029-293-8576)

食品の衛生管理に必要な微生物の測定技術等の研修を実施しております。

○清酒製造研修 (食品バイオ部門 tel:029-293-7497)

清酒の製造に必要な各工程の生産技術等の研修を実施しております。

■工業系人材育成

工業技術センターの開放機器の使用方法等について研修を予定しております。

詳細につきましては各担当部門までご相談ください。

○開放機器利用研修【無料】：以下の開放機器について操作方法等の研修を実施いたします。

- ・材料試験機 (インストロン万能試験機) (先端材料部門 tel:029-293-7492)
- ・三次元測定機 (技術融合部門 tel:029-293-7482)
- ・蛍光X線, F T - I R (先端技術部門 tel:029-293-7495)
- ・E M C 関連設備 (技術基盤部門 tel:029-293-8575)

○技術習得研修【有料】：機器を使用する上で欠かせない知識と基本操作を習得する研修を実施します。

C A E 研修 [入門編] (技術融合部門 tel:029-293-7482)

○個別研修【有料】：受託研究として以下のような受入れ研修が実施可能です。

- ・材料の評価解析研修 (先端技術部門 tel:029-293-7495)
- ・E M C 対策基礎研修 (技術基盤部門 tel:029-293-8575)
- ・マイコン基礎研修 (技術基盤部門 tel:029-293-8575)
- ・C A E 研修 [応用編] (技術融合部門 tel:029-293-7482)



研修終了後、県内企業への就業が原則となっております。



■困ったときの相談先

技術分野ごとに対応した部門体制をとっております。部門活動として、重点研究や、今後社会に提案していく研究テーマの検討などを進めていきます。

センター長	桑島 英純	工業技術センター総括
副センター長	・ 事務系副センター長 中山 芳樹 事務系統括 ・ 工業系副センター長 鴨志田敏行 工業系部門統括 ・ 地場系副センター長 齋藤 均 食品系、繊維工業指導所、窯業指導所統括	
企画管理部 ☎ 029-293-7212(代) 企画管理部長 中山 芳樹 (兼務)	工業技術センター本所の庶務経理を担っています。	
	・ 主 査 笹島 健嗣 庁舎維持管理等 ・ 係 長 高橋 貴子 給与、福利厚生等	
産業連携室 ☎ 029-293-7213 室長 大力 賢次	工業技術センター全体の企画運営、情報提供や取りまとめ、木工、デザインを行っています。	
	・ 主任研究員 寺門 秀人 研究評価、人材研修、漆 ・ 主任研究員 尾形 尚子 受託・共同研究、デザイン ・ 主 任 若生 進一 工業技術研究会事務局、経常研究 ・ 主 任 小林 哲也 重点研究、情報誌発行、web サイト更新、デザイン、木工 ・ 嘱 託 長江 弘允 ものづくり産業活性化プロジェクト事業、研究報告書、成果集	
機械系 技術融合部門 ☎ 029-293-7482 部門長 鴨志田 武	計測・制御技術、画像処理、C A Eによる流体・構造解析などの機械システム系の技術に対応し、企業ニーズに基づく共同研究や受託研究を推進します。	
	・ 技 師 青木 邦知 化学プラント劣化診断技術開発、計測・制御関連、3次元測定、材料試験 ・ 技 師 谷萩雄一朗 流体解析等のCAE解析、材料試験、CAD・CAM ・ 技 師 山下 宏 材料試験、精密測定、モーター設計技術、電磁場測定解析 ・ 技 師 中川 健司 化学プラント劣化診断技術開発、ロボット関連支援	
電気系 技術基盤部門 ☎ 029-293-8575 部門長 小石川 勝男	E M C、センサ情報処理、マイコン制御などを主に対応し、企業ニーズの製品化・自動化を支援します。	
	・ 主任研究員 平野 聡 EMC[電氣的ノイズへの対応]に関する計測・対策技術 ・ 主 任 小泉 洋人 自動化、計測制御、画像処理に関する技術 ・ 主 任 川又 正明 EMC[電氣的ノイズへの対応]に関する計測・対策技術 ・ 技 師 戸塚 貴之 電子回路(アナログ・デジタル)、マイコン制御	
金属系 先端材料部門 ☎ :029-293-7492 部門長 岡部 弘文	マグネシウム合金に関する研究開発、金属材料試験、金属組織試験、金属材料解析評価、超精密加工(FIB)、放電プラズマ加工などに対応しています。金属材料に関わる技術開発を支援します。	
	・ 主 任 小松崎和久 マグネシウム合金のプレス成形、金属材料試験、放電プラズマ加工 ・ 主 任 行武栄太郎 マグネシウム合金に関する研究開発、金属材料評価、依頼試験 ・ 技 師 早乙女秀丸 金属組織試験、超精密加工(FIB)、依頼試験 ・ 技 師 上田 聖 金属材料に関わる依頼試験・設備使用	
化学系 先端技術部門 ☎ 029-293-7495 部門長 浅野 俊之	主に材料などの分析評価及び表面処理技術の相談に対応しています。R o H S指令、グリーン調達対応のための分析支援、ナノテクを活用した機能性材料の開発やレアメタルリサイクルに取り組んでいきます。	
	・ 主任研究員 飯村 修志 薄膜・コーティング、機能性材料、材料物性評価、成形加工(プラスチック、セラミック) ・ 主任研究員 宇津野典彦 化学センサ、分析・評価(GC/MS、LC/MS、FT-IR、ラマン分光分析) ・ 技 師 加藤 健 レアメタル抽出、化学センサ、分析・評価(蛍光X線分析、FT-IR) ・ 技 師 石川 洋明 マイクロバブル洗浄、電池特性評価、分析・評価(蛍光X線分析、FT-IR)、表面処理(耐食性試験) ・ 技 師 石渡 恭之 コンクリート劣化診断、分析評価(蛍光X線分析)、環境リスク評価 ・ 技 師 岩澤 健太 分析評価(蛍光X線分析、FT-IR)	

茨城県工業技術センターは、茨城町の本所、結城市にある繊維工業指導所、笠間市にある窯業指導所の3所からなり、10の研究部門を有しております。また、つくばとの連携機関の「いばらきサロン」および、ひたちなかの「デザインセンター」に職員を駐在しております。本所には4つの工業系部門（機械系、金属系、電気系、化学系）と2つの食品系部門（発酵系食品、地場系食品）が、繊維工業指導所には2つの部門（プラスチック&一般繊維、紬織物）、窯業指導所には2つの部門（窯業材料、窯業技術）がそれぞれあります。

発酵食品系 食品バイオ部門 ☎ 029-293-7497 部門長 長谷川 裕正	主に酒、納豆、有用微生物などの開発や支援、酒造の人材研修に対応しています。食品の機能性や有用微生物の分子生物学的解析に関する研究を昨年度に引き続き進めていきます。	
	・主 任	武田 文宣 清酒製造技術指導、人材研修
	・主 任	田畑 恵 有用微生物の利用、分子生物学的解析など
	・技 師	岩佐 悟 乳酸菌利用食品の研究開発、食品の機能性研究
加工食品系 地場食品部門 ☎ 029-293-8576 部門長 中川 力夫	菓子、米菓、醤油、味噌、漬物などの加工工程における衛生管理や成分分析等による品質管理などに対応しています。製品の高付加価値化に取り組んでいます。	
	・主任研究員	吉浦 貴紀 菓子、米菓、衛生管理、微生物管理研修
	・技 師	坂井 祥平 機能性成分分析、農産加工
	・技 師	久保 雄司 食品成分分析（塩分、窒素分、糖度、有機酸、アミノ酸）
繊維工業指導所		
プラスチック系 素材開発部門 ☎ 0296-33-4154 部門長 磯 智昭	プラスチック等高分子製品に対応しています。プラスチックの高機能化、生産管理技術、製品開発に取り組んでいます。	
	・主 査	蛭沢 悦子 収入、支出、庁舎維持管理、給与、物品、福利厚生その他
	・主任研究員	大高 理秀 画像処理、生産管理、プラスチック物性評価
	・技 師	高力美智子 製品開発、デザイン、繊維物性試験
	・技 師	磯山 亮 プラスチック成形、プラスチック改質
	・嘱 託	酒井 直子 プラスチック等物性試験、分析
繊維系 紬技術部門 ☎ 0296-33-4154 部門長 篠塚 雅子	繊維製品の開発支援や結城紬やいしげ結城紬の振興、人材研修に対応しています	
	・主 任	本庄 恵美 繊維製品の製造・開発・評価、繊維の高機能化、繊維物性試験
	・主 任	石川 章弘 紬織物を中心とした地場産業振興の企画開発、デザイン
	・主 任	中野 睦子 織物の染色・製織・整理加工技術、繊維の分析試験
	・嘱 託	渡邊 直子 結城紬後継者育成研修の準備及び実習指導
窯 業 指 導 所		
窯業材料系 材料技術部門 ☎ 0296-72-0316 部門長 仁平 敬治	セラミック・石材の研究開発、窯業原料の分析、人材育成（釉薬）に対応しています。セラミック製品の付加価値化などを進めます。	
	・係 長	岡見八重子 収入、支出、給与、物品、福利厚生、服務その他一般事務
	・主 任	吉田 博和 人材育成研修（釉薬）、窯業原料の分析・評価、依頼試験
	・嘱 託	橋本 俊郎 釉薬情報データベース、新釉薬・化粧土の開発
窯業材料系 工芸技術部門 ☎ 0296-72-0316 部門長 佐藤 茂	県内陶磁器工業業界の商品開発や人材研修を中心に対応しています。他産地との差別化を狙った製品開発を進めます。	
	・主任研究員	常世田 茂 窯業資源の開発、耐熱製品の振興、人材育成（石膏・応用）
	・技 師	久野 亘央 人材育成（成形Ⅰ科・Ⅱ科・Ⅲ科）、工芸陶磁器の調査・企画
	・技 師	望月 聡美 地域資源を活用したデザイン開発、技術文献の収集整理
茨城県商工労働部 いばらきサロン ☎ 029-858-6015	つくば地区研究機関・大学などと民間企業との橋渡しを行います。特に、つくば産業フォーラム、つくばの夕べ、茨城県研究開発型企業交流協会（IRDA）の事務局などの活動を行っております。	
	・主任研究員	大城 靖彦 研究支援型産業の支援・育成、産学連携の推進、情報提供等
	・嘱 託	蛭田 政宏 環境関連フォーラム運営、コーディネート及び技術相談等
茨城県商工労働部産業技術課 デザインセンター ☎ 029-264-2205	デザイン相談、デザイン開発支援事業、いばらきデザインセレクションを進めています。	
	・嘱 託	大栗 淳子 デザインの力で企業のものづくり、地域の活性化を支援

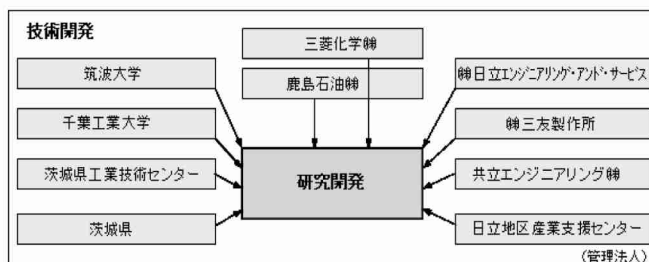
■工業技術センターが進める提案型業務など

●大型プロジェクト

将来、茨城がその分野でリードすることを目指し、プロジェクトの開始から県内企業などとともに連携を組んで開発を進めています。

・仮設足場を不要とする遠隔操作式化学プラント配管劣化診断システムの開発

化学プラントの配管類の外表面腐食を仮設足場なしで診断できる遠隔操作式で自動的に計測する装置の技術を開発し、プラントの安全性確保を図ります。さらに、保守期間の短縮をはじめとする保守サービスの合理化推進と設備稼働率の改善をはかり、我が国製造業における保守費用の低減と国際競争力の向上に役立てるため取り組みます。



・新分野技術開発プロジェクト「非破壊によるコンクリート劣化診断技術の研究」

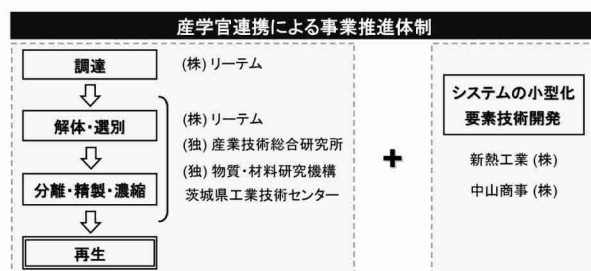
産学官連携の“茨城県メンテナンスビジネス研究会”を設立し、コンクリート構造物、上下水道管などの診断・補修技術に関する勉強会や技術開発の検討を行っています。また、当センターでは、その一環として、近赤外分光法を利用した、コンクリート構造物の非破壊による塩害劣化診断手法について研究を行っています。

今後、メンテナンスに関する需要が増すことは

必至です。メンテナンス技術開発を通し、県内企業のメンテナンス市場への参入支援を推進していきます。本年度も、研究会に参加し、共に勉強、技術開発を行っていく企業を募集しております。まずは情報収集をお望みの方から、アイデアをお持ちで技術開発の検討を行いたい方まで、お気軽にお問い合わせください。

・レアメタルリサイクルプロジェクト

使用済み製品を対象に、独自の前処理技術及び対象元素毎の湿式処理法を活用し、レアメタルの高効率な回収技術確立を目指します。また都市近傍において設置可能な小型の省エネルギー・環境配慮型プロセスを展望しつつ、設計・開発を推進致します。当センターでは、溶媒抽出法を利用したレアメタル分離・濃縮を研究致します。



●重点研究

今後、産業界で必要と思われるちょっと未来の研究に取り組んでいます。

県農産品の機能性成分の調査研究 (H19 - H23)

県農産品（干し芋、ヒッポファエ、福来みかん）の機能性成分を解明し、機能性のより高くなる加工方法を検討します。

有色素大豆加工に適した納豆菌の開発 (H19 - H23)

従来の納豆菌では十分発酵できなかった有色素大豆に適した納豆菌をバイオテクノロジーの手法を用いて検索するとともに、加工条件を検討します。

新形質米の機能性成分保持と高度利用技術の研究 (H21 - H23)

新形質米（有色素米、巨大胚芽米、低・高アミロース米）について加工時の機能性成分損失を防ぐ方法と加工技術の研究をします。

●経常研究

重点研究の成果を具体的な企業ニーズへの展開や、次のテーマのための調査を行います。

経常研究の一例



●MZ Platform による生産管理技術の研究 (H21-H23)

（独）産総研が開発したMZ Platformを利用し、中小企業向けの簡易在庫管理システム・簡易生産管理システムの開発を行います。

●結城紬産地地産地消製品の開発とPR戦略 (H20-21)

地域住民をターゲットとした地域特産の特徴を活かした地産地消製品の開発を行うほか、効果的な産地情報の周知を目指します。

●伝統的笠間焼リバイバル計画 (H20-24)

枯渇した原料や技法を再現する事で新たな市場開拓が見込めるため、応用した製品を開発し産地間競争力・販売力強化を目指します。

■技術支援のハブ機関を目指します

工業技術センターでは、技術支援のハブ機関を目指して、皆様方にご気軽にご相談いただけるようサービスの質の充実に努めてまいります。また、御用聞き及び懇談会などを通して、様々なご支援をいたします。

●企業との交流 企業の皆様との交流を深めるための活動を行っております。



御用聞き

各職員が企業の現場に積極的にお伺いし、当センターの事業紹介や企業ニーズの収集を行っております。平成20年度は1500件弱の企業の現場に伺いました。



出前発表

当センターの業務や成果について、業界総会などに出かけ「出前発表」を行っております。ご要望によりお伺いしますので、お問い合わせ下さい。



業界懇談

各業界の代表の方々と当センター職員とで、業界の将来等について語り合います。これにより、業界の活動や中長期的な計画を共有していきます。



産学官連携

産学官で取り組む研究事業に積極的に参画し、大学や県内企業とともに本県独自の新技術・新製品等の研究開発を進めています。
(H21年度 研究テーマ) 高濃度オゾン水+エキシマ光併用による半導体レジスト洗浄システムの確立



競争的外部資金導入支援

県内企業の研究資金獲得支援と、共同・受託研究、センター発の技術の事業化を促進するため、競争的研究資金の導入を支援します。
(H20年度外部資金採択状況：12件、事業費総額約35,600万円)

●各種窓口のご紹介



いばらき サロン (産学官連携)

いばらきサロンは、つくば地区の研究機関・大学の研究成果を県内企業へ橋渡しするイノベーション推進機関です。茨城県の産業政策課、工業技術センター、中小企業振興公社の職員が、県内企業のみなさまのご相談にお応えします。



デザイン センター (デザイン開発)

デザインセンターは県下の産業デザインの拠点として中小企業の製品開発から生産・販売に至るデザイン活動の総合的な支援機関です。デザイン開発相談や関連機器、人材研修など皆様のご相談にお応えします。また「いばらきデザインセレクション」を実施し、優れたデザインを推奨し、地域産業の発展を後押しします。

●その他

成果発表会やイベントを行っております。



成果発表会

2月中頃から3月中頃までの間に、工業技術センター、繊維工業指導所、窯業指導所の3箇所、それぞれ、その年度の成果・研究報告などを発表いたします。



イベント

匠工房・笠間フェア(窯業指導所 春4月下旬)、繊維工業指導所フェア(秋11月頃)などのイベントを通して、ひとりでも多くの方にもものづくり楽しさを体験していただけたらと、行っております。

このほか、研究報告書や論文の執筆、外部講師、国の研究所が主催する会議への出席、国の研究所や大学との情報交換などによる人的ネットワークづくりなど、知見や人脈を広める活動も進めております。また、依頼試験や設備使用、人材研修などに対応するためのスキルアップを図る活動もしております。

■各機関へのアクセスとお問い合わせ —お気軽におたずね下さい—



●茨城県工業技術センター
〒311-3195 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3781-1
TEL : 029(293)7212(代)
FAX : 029(293)8029



●繊維工業指導所
〒307-0015 茨城県結城市鹿窪 189
TEL : 0296(33)4154
FAX : 0296(33)2953



●窯業指導所（匠工房笠間）
〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2346-3
TEL : 0296(72)0316(代)
FAX : 0296(72)3027



茨城県商工労働部
●いばらきサロン
〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6
つくば研究支援センター内
TEL : 029(858)6015(代)
FAX : 029(858)6017



茨城県商工労働部産業技術課
●茨城県デザインセンター
〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町 38 番
ひたちなかテクノセンター 1 階
TEL : 029(264)2205
FAX : 029(264)2206

- 本誌 4～5 ページ目には、各部門への直通連絡先を掲載しております。
- 最新の情報やお問い合わせはこちらまで。
- ・ホームページ

茨城県工業技術センター → 検索

アドレスは

<http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/>

・電子メール

renkei2@kougise.pref.ibaraki.jp

平成21年度の主な年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共同研究問い合わせ先調査	共同研究採択		技術情報誌発送						技術情報誌発送	成果発表会	H22 年度の 受託・共同研究 募集案内
技術相談、依頼試験、設備使用、人材育成、研究（各通年）						笠間焼後継者研修募集			結城紬後継者 研修募集		
匠工房・笠間フェア (4/29 - 5/5)						繊維工業指導所フェア					